みずほCustomer Desk Report 2022/10/31 号(As of 2022/10/28)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

				公示仲値	146.70
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	146.28	0.9968	145.80	1.1567	0.6451
SYD-NY High	147.86	0.9998	147.33	1.1622	0.6480
SYD-NY Low	145.99	0.9928	145.70	1.1504	0.6389
NY 5:00 PM	147.44	0.9968	146.88	1.1615	0.6412

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	32,861.80	828.52	日本2年債	▲0.0500%	0.0000%
NASDAQ	11,102.45	309.78	日本10年債	0.2400%	▲0.0100%
S&P	3,901.06	93.76	米国2年債	4.4122%	0.1309%
日経平均	27,105.20	▲ 240.04	米国5年債	4.1801%	0.1160%
TOPIX	1,899.05	▲ 6.51	米国10年債	4.0092%	0.0833%
ｼｶｺﾞ日経先物	27,510.00	425.00	独10年債	2.0840%	0.1075%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,047.67	▲ 26.02	英10年債	3.4910%	0.0905%
DAX	13,243.33	32.10	豪10年債	3.7700%	▲0.1070%
ハンセン指数	14,863.06	▲ 564.88	USDJPY 1M Vol	12.90%	▲0.53%
上海総合	2,915.93	▲ 66.98	USDJPY 3M Vol	12.66%	▲0.17%
NY金	1,644.80	▲ 20.80	USDJPY 6M Vol	12.16%	0.07%
WTI	87.90	▲ 1.18	USDJPY 1M 25RR	▲0.64%	Yen Call Over
CRB指数	272.62	▲ 4.18	EURJPY 3M Vol	12.59%	▲0.19%
ドルインデックス	110.75	0.16	EURJPY 6M Vol	12.61%	0.02%

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は146.28ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午前中に発表された東京10月CPIが市場予想を上回るも影響は限定的だった。また、日銀政策決定会合では従来の金融政策の運営に不変はなかったものの、発表後には1円程度上下動する場面も見られた。その後は動意なく推移し、結局146.45ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は146.45ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝし、日本銀行が28日に開催した金融政策決定会合で現行の金融政策と緩和的なｽﾀﾝｽを維持したことを受けて、円が売られて大幅安に。147.48ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のﾄﾞﾙ円は146円台前半でｽﾀｰﾄ。東京時間では東京10月CPIが予想を上回るも市場は反応薄。その後、日銀金融政策決定会合では金融政策の据え置きが伝わり、予想通りの内容だったが、発表直後には上下に荒い値動きとなり、黒田日銀総裁が緩和継続姿勢を強調すると円売りが強まり、一時147.86まで上昇。早朝に147円台前半まで反落後、147.48ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米9月PCEｺｱﾃﾞﾌﾚｰﾀｰが予想を下回り、米長期金利の低下とともに147.16まで売られるが、その後、米長期金利が再び4%台に乗せる動きを横目に147.84まで反発上昇。10時発表の米9月中古住宅販売件数が予想を下回り、147.25まで急落するも、10月ﾐｼｶﾞﾝ大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞ(確報値)は予想を上回る中、直ぐに買い戻された。午後は週末を控え様子見ﾑｰﾄﾞが広まる中、147円台半ばの狭いﾚﾝｼﾞでもみ合い。結局、147.44ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは0.99ﾚﾍﾞﾙ半ばでｽﾀｰﾄ。東京時間では0.9998まで上昇する場面もあったが、ﾊﾟﾘﾃｨﾚﾍﾞﾙ回復には至らず。その後、米金利上昇が重しとなり、0.99ﾚﾍﾞﾙ前半まで下押し、0.9955ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米金利の低下局面で0.9989まで上昇するも、海外時間高値(0.9998)手前で伸び悩んだ。その後、米金利上昇を受けて、0.9929まで反落するが、海外時間安値(0.9928)手前でも下げ渋る展開。終日ﾚﾝｼﾞﾄﾚｰﾄﾞに留まり、結局、0.9968ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:上遠野・逸見

【昨日の指標等】

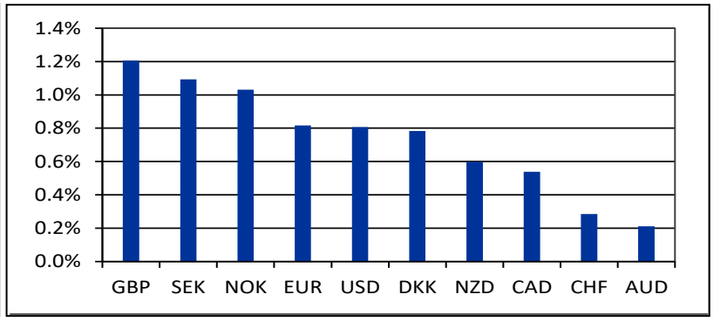
Date	Time		Event		結果	予想
10月28日	08:30	日	東京/東京コア/東京コアコアCPI	10月	3.5%/3.4%/2.2%	3.3%/3.2%/2%
	-	日	日銀 金融政策決定会合	28-Oct	金融政策の現状維持を決定	
	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	10月	-1.2	-1.5
	18:00	欧	ｻｰﾋﾞｽ業信頼感指数	10月	1.8	3.3
	18:00	欧	消費者信頼感・確報	10月	-27.6	-
	21:00	独	CPI(前月比/前年比)・速報	10月	0.9%/10.4%	0.6%/10.1%
	21:30	米	PCEﾃﾞﾌﾚｰﾀ(前月比/前年比)	9月	0.3%/6.2%	0.3%/6.3%
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	9月	-10.2%	-4.0%
	23:00	米	ミシガン大学消費者ﾏｲﾝﾄﾞ・確報	10月	59.9	59.6

【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
10月31日	10:30	中	製造業/非製造業PMI	10月	49.8/50.1	50.1/50.6
	19:00	欧	CPI(前月比/前年比)・速報	10月	1.2%/10.3%	1.2%/10%
	19:00	欧	コアCPI・速報	10月	5.0%	4.8%
	19:00	欧	GDP(前期比/前年比)	3Q A	0.1%/2.1%	0.8%/4.1%

【ドル円相場】

【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.80-148.80	0.9850-1.0050	146.00-148.00

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は上昇。日銀金融政策決定会合の結果を受け直後は145.99－146.90と上下に大きく振幅するも、その後の黒田総裁の会見において当面の金融緩和継続姿勢を確認し、海外時間にかけて円売りが強まりドル円は147.86まで上昇する展開。NY時間発表された米経済指標は9月PCEコアデフレーターや9月中古住宅販売件数は市場予想を下回るも、ミシガン大消費者マインドは市場予想を上回る等強弱入り混じる結果にドル円も147円半ばを中心としたレンジ推移となった。注目の日銀金融政策決定会合では、大方の市場予想通り大規模金融緩和の継続方針を示し、直後はドル円上昇で反応するも「経済・物価情勢の展望」において今年度の物価上昇率が上方修正されたことやETF買入れ見直しのヘッドラインを受けた警戒から一時利益確定にもおされ146円割れまで下落するボラタイルな動きとなった。しかし、その後の黒田総裁の会見において「今すぐ利上げ・出口が来るとは考えていない」との発言を受け日銀の変わらぬ金融緩和スタンスを確認し、順当な円売り再開となった。今週は11/1-2のFOMCや11/3のBOE会合、また週末の米雇用統計と複数重要イベントを控えており、週初は様子見色の濃い展開となりそう。もっとも、慎重な動きの中でも、月末の実需ドル買いや日銀会合結果を受けた円売り再燃からドル円は上方向への動きを見込む。なお、本日公表される財務省の10月介入実績も眺めつつ、過去最大級と憶測される介入額が市場予想をさらに上振れば介入余力を見透かした上値トライも意識されよう。